

熊本県子ども会連合会 ジュニア・リーダー研修会

1日目

 令和5年12月16日(土)～17日(日)
 熊本県立天草青年の家

活動1 レクリエーション交流

活動2 創作活動～色んなモノでペタペタ～


講師 Mikoさん


活動3 座学～リーダー会カフェ～

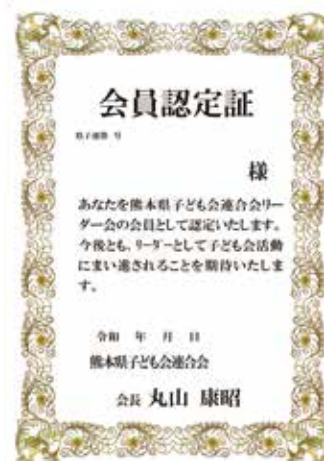

Lunch Time


2日目

朝のつどい


活動4 スコアオリエンテーリング

認定証10名へ!!

 石堂成珠さん
 松本聡一郎さん
 白石遥愛さん
 池松由衣華さん
 友田茉璃さん
 村上 幸さん
 橋本愛歩さん
 四宮風佳さん
 堤田竣喜さん
 川口まといさん


ユース・リーダーが子ども会の未来を創る

～確かな息吹～ No.4

今回は、研究推進委員として活躍されている合志市ユース・リーダーの松本聡一郎さんにインタビューをしました。



松本聡一郎さん

事務局

お久しぶりです。最後にあったのは、確か12月に天草青年の家でのJL研修会ですね。今日は、松本さんの子ども会との出会いから現在までの子ども会との関わりについてお尋ねさせてください。

まず、子ども会との出会いについて教えてください。

松本さん

合志市の子ども会事務局の担当になったことが出会いです。

事務局

そうなんですね。今は、異動により子ども会担当ではないですね。

松本さん

はい。

事務局

私の知る限り多くの場合は、担当が変わられると子ども会との関わりがなくなるようですが、松本さんが子ども会との関わりを続けられている理由はなんですか？

松本さん

ジュニア・リーダーの子ども達が様々な体験活動をきっかけに成長していく姿を見れたこと。また私自身、子ども会活動をとおして成長させてもらったという思いがあり、現在も関わりを持たせていただいています。

事務局

子どもたちの成長と松本さん自身の成長が今につながっているんですね。それだけ子ども会活動が楽しかったんですか。

松本さん

もちろん楽しさもあります。多感な時期の子ども達は、出会う人や環境で、生き方や成長の仕方が大きく変わってくると思います。私自身、10代の頃は、人と関わることが苦手で、いつも人の目ばかりを気にしていました。しかし、環境の変化やたくさんの人との出会いの中で、20代は人と関わる楽しさを知る期間とな

りました。子ども会活動でも年齢やバックグラウンド関係なく様々な人とつながることができました。そうした人たちに支えられながら子ども会のイベントなどを行った経験は、私に周りとの協力することの大切さを教えてくれました。そのような私の実体験から子ども達にもたくさんの経験をしてほしいという思いと、行動するための「一步を踏み出す後押しをしたい」という思いもあり、それが今も子ども会と関わりを持つ一番の理由です。

事務局

子ども達の活動の様子を見られて、子ども会の魅力はどんなところだと思いますか。

松本さん

たくさんの人とつながれること。そして、やる気があれば、たくさんチャレンジの機会が待っていることです。

事務局

松本さんは、子ども会の研究推進委員をされているとのことですが、委員としてどんなことをされているのですか？

松本さん

子ども会の会員減少の課題を解決するため、子ども会の魅力を改めて再考、創出し、県や九州の子ども会関係者に提案していくことが役割です。

事務局

そうなんですね。子ども会の未来にとってとても大事な役割の委員さんですね。最後に、子ども会や子ども達へ向けて、メッセージをいただけませんか。

松本さん

私自身、10代の頃、人の目を気にして自分のやりたいことをできなかったことがありました。子ども達には、自分のやりたいことをやってほしいと伝えたいです。これからも子どもたちの思いを聞きながら一緒に活動していくことで共に成長していける時間を作っていきたいです。

事務局

今回は、ユース・リーダーの松本聡一郎さんにお話をお聞きしました。ありがとうございました。